

A 「駅長さんの話」



駅長のしがさん



安芸太田町へ来る人は、中国自動車道を使う人が多いのです。だから、「戸河内インターチェンジ」のすぐそばの「道の駅『とごうち』」は、安芸太田町の玄関^{げんかん}になります。高速道路から下りた人も、これから乗る人も、立ちよっていかれる方が多いです。道の駅は、町外の人と安芸太田町をつなぐ場所なのです。



道の駅では、安芸太田町の人が生産したものも売っています。80人以上の人が1000種類以上のものを持っています。米、やさしい、くだもの、お酒、木製品、布製品などいろいろなものを売っています。

^{じもと}地元の物を売っている道の駅は全国にありますが、地域の人が作ったものをこんなにたくさん売っているところはあまりありません。



駅長のしがさんの話から、道の駅「とごうち」のよさを考えよう。

B 「利用している人の声」

山口県からのお客さん

高速道路を使って、山口県から来ました。
三段峡に、毎年来ます。去年来た時に、この道の駅に、すごくたくさんの方がいましたよ。

お店にあるものが、安いですね。他のところで売っているものより安いです。

安芸太田町で作られている焼き物を見るのが楽しみです。今日は、この焼き物のはしおきを買おうと思っています。



広島市からのお客さん

高速道路を使って、広島市から来ました。
三段峡に、魚つりにいくので、一年に何回も安芸太田町に来ます。

ここには、売っているものがいろいろあって、いいです。めずらしい野さいがあるね。見ているだけでも楽しくなります。



オートバイで来たお客さんが案内板を見て調べていました。

三段峡情報があるので、安心して行ってみようと思います。



3人の利用者の声から、道の駅「とごうち」のよさを考えよう。

C 「生産者^{せいさんしゃ}の話」

玉ねぎドレッシングを作っている やたてさん（上殿）

上殿に住んでいます。自分の家で作ったたまねぎ^{つか}を使ってドレッシングを作っています。「たまねぎドレッシング」は、まごに、てんかぶつが入っていない、体によいドレッシングを食べさせたいと思って作り始めました。



1年に400本ぐらい作ります。道の駅には、そのうち300本ぐらい売りに出します。

ごまドレッシングを作っている ひろふじさん（安芸太田町）



なかまと作り始めた「ごまドレッシング」です。
お客さんによろこんでもらいたいので、おいしくなるように作っています。

食べるものなので、安全には、とても気をつけています。

「プチ タムール」^{どの}（上殿）お店の人



手作りのバッグを売っています。

道の駅には、手軽^{てがる}に買えるようなねだんで、お客さんの気分が明るくなるようなものや、「また来てみようかな。」と思うようなものを

^{えら}選ぶようにしています。

これからの季節^{きせつ}は、クリスマスやお正月らしいふんいきが出るようなものにしようと思います。お客さんによろこんでもらえるようにいろいろ考えるのは、楽しいです。



3人の生産者の話から、道の駅「とごうち」のよさを考えよう。

上殿の宝^{たから}を見つけよう

道の駅「とごうち」

年 名前

道の駅「とごうち」に たくさんの方が来るのは どうしてだろう。

学習前の考え

学習後の考え

ジグソー問題

道の駅「とごうち」のよいところ 3つを決めましょう。

よいところ

わ け

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |